

承認番号	研究課題名	研究責任者
1789-R3	周産期母子医療センターネットワークの構築に関する研究	母子総合医療センター 横田 聡 教授
2457-R2	抗菌薬適正使用と耐性菌発生の関連性の検討	感染症科 菊池 賢 教授
2669-R2	白血病、骨髄異形成症候群におけるRIZ1遺伝子、BCS3遺伝子、p33遺伝子のプロモーターのメチル化と発現解析	血液内科 田中淳司 教授
2887-R2	非弁転位性心房細動患者を対象とした抗凝固療法の治療実施について	循環器内科 萩原誠久 教授
3387	12歳～17歳の不安を伴ううつ病者に対する抗うつ薬escitalopramの臨床効果-観察研究-	精神医学 石郷岡 純 教授
3389	生体腎移植ドナー候補の臓器提供意思に関する研究	精神医学 石郷岡 純 教授
3390	心臓教育プログラム導入後のスタッフの変化の検討	精神医学 石郷岡 純 教授
3391	ICU入室中の心臓血管外科術後患者に対するPABガイドラインの有用性	看護部 坂本倫美 看護部長
3394	糸球体疾患の病態や予後に関連する電子顕微鏡的パラメーターの検討	第二病理学 小川秀明 教授
3395	左室使用腔状型を伴う完全大血管転位症、両大血管右室起源症に対するラステリ手術における心室中隔欠損小症例に対する心室中隔欠損部の遠隔閉鎖及び遠隔心室機能・不整脈への影響の検討	心臓血管外科 山崎健二 教授
3396	法医学解剖における頭部外傷の受傷機転と頭蓋内損傷の重症度の関係の解析	法医学 木村和彦 教授
3400	腎臓病患者における大動脈弁と前降弁の石灰化にかかわる因子の検討	第三内科 内田安子 教授
3401	LABSPECT専用試薬「シカフィットKAG」の性能評価	中央検査部 川島 真 運営部長
3402	化膿性鼓膜穿孔に対する筋・皮弁移植術の有用性	整形外科 加藤義治 教授
3403	IgA腎症における糸球体型糸球体腎炎3段階分類の臨床的意義	第四内科 新田孝正 教授
3404	慢性付随性口血病に対するチロシンキナーゼ阻害薬投与と合併症に関する研究	血液内科 田中淳司 教授
3405	わが国の腎臓、肝臓移植施設における生体ドナーの意思決定の支援と確認に関する検討	精神医学 石郷岡 純 教授
3406	局所限局前立腺癌における寡分割強度変調放射線治療の検討	放射線腫瘍学 唐澤久美子 教授
3408	不整脈原性右室心筋症（ARVC/D）の予後調査	循環器内科 萩原誠久 教授
3409	血中TBAIL測定を行った急性冠症候群患者の経過観察	循環器内科 萩原誠久 教授
3410	精神科コンサルテーションにおける医薬品による精神障害の検討	精神医学 石郷岡 純 教授
3412	デビタランの効果、有害事象に関するモニタリング指標、および用量設定に関する検討	循環器内科 萩原誠久 教授
3413	デビタランの効果、有害事象に関するモニタリング指標、および用量設定に関する検討	八千代医療センター循環器内科 菅田昭二 准教授
3415	グリコアルブミン新規項目演算式検討	中央検査部臨床検査科 佐藤麻子 教授
3416	I型糖尿病患者における朝食前血糖変動とインスリン抗体および臨床的因子の検討	八千代医療センター糖尿病内分泌代謝科 植本浩武 教授
3417	透析導入時の腎性貧血管理と患者予後との関連性についての臨床研究 ～長時間透析型糸球体濾過因子製剤の効果の検討～	第四内科 新田孝正 教授
3419	スワン・ガンツカテーテルによる右心カテーテル検査から求める血行動態指標の精度分析と一般化について 熱帯療法による心拍出量測定時の必要測定サンプル数の検討 肺動脈拡張開正、右房圧から肺動脈圧への面積分析 心エコー指標から肺動脈圧への面積分析	八千代医療センター循環器内科 菅田昭二 准教授
3421	法医学解剖における薬物検査結果と死亡の関係の解析	法医学 木村和彦 教授
3425	悪性リンパ腫におけるIGH/SOX5融合遺伝子の検出頻度についての検討	血液内科 田中淳司 教授
3426	付随異形成症候群における20番染色体長腕上に存在する遺伝子群発現低下の臨床的意義の検討	血液内科 田中淳司 教授
3427	I-123 イオフルバンSPECT検査に与える画像再構成条件の検討	画像診断学・核医学 坂井修二 教授
3428	FDG-PET/CTによる悪性腫瘍診断性能の検討	画像診断学・核医学 坂井修二 教授
3430	キアリ奇形に対する大孔部減圧術における硬膜切開術（Creating an 'Artificial Cisterna Magna'）の安全性と有用性の検討	脳神経外科 川原貴一 教授
3432	法医学解剖における血痕生化学検査の有用性の検討	法医学 木村和彦 教授
3434	導出16誘導心電図の有用性の検討-小児例を中心として-	中央検査部 川島 真 運営部長
3435	手術前症候群における周術期口腔機能管理に関する分析研究	歯科口腔外科 安藤智博 教授
3436	22q11.3欠失症候群における統合失調症に関する調査	循環器小児科 林 仁三 准教授
3437	先天性心疾患のある女性患者の妊娠および出産に関する後方視的検討	循環器小児科 林 仁三 准教授
3439	透析患者における関心術後早期成績向上を目指す周術期管理手法	心臓血管外科 山崎健二 教授
3440	2nd-line分子標的薬治療における予後予測因子として最大腫瘍縮小率の評価は有効か？	泌尿器科 田道一成 教授
3441	当施設における腎移植後リンパ増殖性疾患の経験	泌尿器科 田道一成 教授
3443	非大動脈・非内分派黒山系肝転移の切除成績の全国統計	消化器外科 山本果一 教授
3446	心臓手術後の急性腎障害発生の予測因子の検討	麻酔科 尾崎 眞 教授
3447	ウィングスバーステンシシステム市販後調査に基づく頭蓋内動脈硬化症に対する経皮的血管形成術/ステント留置術に関する前向き観察研究	脳神経外科 川原貴一 教授
3451	頭蓋内動脈硬化症に対する経皮的血管形成術に関する前向き観察研究	脳神経外科 川原貴一 教授
3453	多発性筋炎/皮膚筋炎合併間質性肺炎の予後予測因子の同定	リウマチ科 川口順司 臨床教授

承認番号	研究課題名	研究責任者
3454	～後障害なき生存を目指して～超早期産後性肺疾患に発症する肺高血圧症の周産期リスク因子の解析および長関手後の検討	母千総合医療センター 横田 聡 教授
3455	胃癌に対してESD後腸力断端陽性例への対応	八千代医療センター内視鏡科 光永 昌 教授
3456	鏡視下腎部分切除術における術後ドレーン留置の必要性についての再検討	徳島大学 川道一成 教授
3457	心房スイッチ術後にジャテン手術を施行した完全大血管転位症の術後遠隔期左室機能について	循環器小児科 朴 仁三 准教授
3458	先天性心疾患術後心房頻拍に対する破砕電位（fragmented potentials）を指標としたカテーテルアブレーション	循環器小児科 朴 仁三 准教授
3459	化学放射線治療患者における周術期口腔機能管理に関する分析研究	歯科口腔外科学 安藤晋博 教授
3460	人工呼吸療法に関する疫学研究	八千代医療センター集中治療部 貞広智仁 部長
3461	食道癌根治的切除術後の単発性リンパ節転移に対する放射線治療成績の検討	放射線腫瘍科学 唐澤久美子 教授
3463	局所進行肺癌に対する放射線治療の治療効果と有害事象	放射線腫瘍科 唐澤久美子 教授
3464	当院における10年間の血液培養結果集計	中央検査部 川島 眞 運営部長
3465	先天性心疾患に対するペースメーカー植込みの効果と合併症に関する研究	循環器小児科 朴 仁三 准教授
3466	心外膜リードを用いたベースメカ感染症例での検討	循環器小児科 朴 仁三 准教授
3467	症候性肝臓腫瘍患者におけるB型肝炎ウイルス再活性化に関する多施設共同疫学的観察研究	血液内科学 田中淳司 教授
3468	急性白血病患者における多剤併用化学療法時の発熱性好中球減少症に関する検討	血液内科学 田中淳司 教授
3469	表在食道扁平上皮癌に対する放射線治療の治療成績と再発形式についての検討	放射線腫瘍科学 唐澤久美子 教授
3470	局所大腸癌に対する術前放射線治療の効果と有害事象	放射線腫瘍科学 唐澤久美子 教授
3471	高齢者原発性副甲状腺機能亢進症患者に対する外科治療の有効性と安全性	内分泌外科 岡本高宏 教授
3472	腎腫瘍に対する腎部分切除術の手法による腎機能回復と温存腎実質量の経時的変化およびこれに寄与する患者および手術因子の影響についての検討	泌尿器科学 川道一成 教授

〇〇〇病院周産期母子医療センターNICU

作成日 平成 年 月 日

「周産期母子医療センターネットワークデータベース」

への情報提供について（見本）

当施設は、「周産期母子医療センターネットワークデータベース」事業に参加しております（<http://nponrn.umin.jp/index.html>）。この事業は、一般社団法人日本新生児成育医学会等の援助により、認定 NPO 法人新生児臨床研究ネットワークが運営しております。情報を提供する対象者は、当院に入院された在胎期間 32 週未満の早産児または出生体重 1500g 以下の低出生体重児となります。提供先は、本データベースの事務局である東京女子医科大学母子総合医療センターとなります。提供される情報は、分娩前の母体の状態と出生後の新生児の状態です。なお、情報の詳細は、事務局のホームページで確認できます（<http://plaza.umin.ac.jp/nrndata/>）。情報の登録は、WEB ページまたは紙媒体で行われますが、新生児やご家族の個人的な事柄（氏名、住所等のプライバシー情報）に関する個人情報は一切含まれず、全て番号（識別番号）で登録されます。したがって、提供された情報の個人が特定されることはありません。ただし、退院後の成長状態を記録する際に、すでに病院を移動しておられる場合には、移動された病院に、お子様の登録番号をお知らせして、入院された病院と同様に新生児期から継続して経過を知ることができるようにします。また、わが国の他のデータベースとデータを突合してさらに詳細な情報を収集する、あるいは他外国のデータベースと集計結果の比較をすることもあります。そして、集計結果は、医学雑誌、研究会・学会等で発表されることがありますが、この場合も個人が特定されることはありません。

この周産期母子医療センターネットワークデータベース事業は、収集したデータを分析することで、さらなる母子医療の向上を目的としています。わが国の母子医療レベルは世界でトップクラスにありますが、今後さらに改善すべき点は数多くあります。そこで、今後適切な改善策を講じるためにも、このようなネットワークデータベースの情報が重要となります。したがって、今回収集された情報は、今後の母子医療の向上のための目的以外には決して使用されることはありません。

なお、今回の情報提供を中止する場合、あるいはご質問がある場合には、遠慮なく下記担当者にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

新生児科医師 〇〇〇〇

東京女子医科大学母子総合医療センター

電話：03-5269-7344

平成 27 年 5 月 1 日

東京女子医科大学病院に通院中の患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 抗菌薬適正使用と耐性菌発生の関連性の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院感染症科

[研究責任者] 菊池 賢 感染症科 教授

[研究の目的]

抗生物質が効かない耐性菌が大きな問題となっています。これらは抗生物質を適正に使用することや、感染対策を行うことによって抑制できる可能性があります。各施設の耐性菌の出現状況や抗生物質が使われている状況、感染対策を行う人員・業務状況を調査することで、より耐性菌を出現させない医療環境のあり方について検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

入院された患者さんで、2014 年 4 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日の間に細菌検査を行われ薬剤耐性菌を検出した患者さん

●利用するカルテ情報

細菌検査結果のみ使用いたします。個人が同定できる項目は一切使用致しません。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は一切用いることはありません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院感染症科

担当医師 平井 由児、菊池 賢

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-8995

平成 26 年 3 月 29 日

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 白血病、骨髄異形成症候群におけるRIZ1遺伝子、RUNX3遺伝子、p73遺伝子のプロモーターのメチル化と変異解析

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院

〔研究責任者〕 血液内科 主任教授 田中 淳司

〔研究の目的〕

白血病、骨髄異形成症候群の進展、増悪に関係する異常を解明するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

白血病、骨髄異形成症候群の患者さんで、平成 12 年 7 月 4 日から平成 24 年 9 月 30 日の間に遺伝子、蛋白の研究用の検体の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液、骨髄（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：

- 1 診断名、年齢、性別、身体所見、治療内容、治療効果、状態
- 2 血液検査結果：血算、肝機能、腎機能、CRP、ビタミン B12、NAP スコア
- 3 CT、腹部エコー、骨髄像、染色体、キメラ遺伝子定量

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液内科 担当医師 森 直樹

電話 03-3353-8111 (31544) FAX 03-5269-7329

平成 26 年 6 月 1 日

循環器内科、神経内科に通院中の
(または過去に通院・入院されたことのある) 患者さんまたはご家族の方へ
ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 非弁膜性心房細動患者を対象とした抗凝固療法の長期治療実態について

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器内科、神経内科

[研究責任者] 循環器内科 教授 萩原 誠久

[研究の目的]

心房細動に対し抗凝固薬（ワルファリン、ダビガトラン、アピキサバン、リバーロキサバン、エドキサバン）が処方された患者について、イベントの発生と臨床背景について検討をおこない、各抗凝固療法の治療成績についての評価を行う。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2011 年 3 月 1 日から 2015 年 5 月 31 日までに東京女子医科大学病院循環器内科および神経内科に通院または入院した心房細動患者さんのうち、抗凝固薬（ワルファリン、ダビガトラン、アピキサバン、リバーロキサバン、エドキサバン）の処方がおこなわれた患者さん

●利用するカルテ情報

性別、年齢、身長、体重、基礎心疾患、既往歴（高血圧、糖尿病、冠動脈疾患、左室機能不全の有無）、血栓塞栓症の既往（脳梗塞、一過性脳虚血発作（TIA）、静脈血栓塞栓症）、出血を伴う疾患の既往（消化性潰瘍、腫瘍、頭蓋内出血、その他の出血）、デバイスの有無（植え込み型心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器、心臓再同期療法）、手術歴、透析歴、喫煙、甲状腺機能亢進症の有無、心臓超音波検査、心プールシンチグラフィ、左室造影検査、抗凝固薬の使用状況、併用薬（抗血小板薬、ジゴキシン、抗不整脈薬、ベータ遮断薬、ACE-I / ARB 等）血液検査（PT-INR、血清クレアチニン、BNP）、イベント（塞栓症；脳梗塞、一過性脳虚血発作、その他の全身性塞栓症および出血合併症（安全性）；頭蓋内出血、輸血または入院治療を必要とする出血）の発生日、イベントの詳細、イベント時の画像所見、最終観察日（外来受診日、入院確認日、退院日）、死亡日、死亡理由

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 臨床研究支援センター 担当 長沼 美代子

電話 03-5269-7493 FAX 03-5269-6745

平成 27 年 1 月 31 日

神経精神科/心身医療科に通院中の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 12歳～17歳の不安を伴ううつ病患者に対する抗うつ薬 escitalopram の臨床効果 ー観察研究ー

[研究機関] 東京女子医科大学病院神経精神科/心身医療科、代々木の森診療所

[研究責任者] 石郷岡 純 東京女子医科大学 精神医学教室 主任教授

[研究の目的] escitalopram の治療効果を調査するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

不安を伴ううつ病の患者さんで、平成 25 年 1 月 1 日から平成 27 年 2 月 28 日の間に escitalopram の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、治療内容、副作用、検査結果

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経精神科/心身医療科

担当医師 大下隆司

電話 03-3353-8111 FAX 03-3351-8979

平成 27 年 3 月 ● 日

ご家族への腎臓提供を検討し、心身医療科・神経精神科を受診された方へ
ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の業務で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 生体腎移植ドナー候補の臓器提供意思に関する研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院心身医療科神経精神科

[研究責任者] 神経精神科主任教授 石郷岡純

[研究の目的] 臓器提供の意思を決定することにかかわる要因を明らかにする

[研究の方法]

●対象となる方

2007 年 4 月 1 日から 2010 年 3 月 31 日の間に当院にて生体腎臓移植のための腎提供を希望し、心身医療科・神経精神科外来にて、診察を受けた方

●利用する情報

年齢・性別・腎臓を提供する相手（レシピエント）との続き柄、心身医療科・神経精神科での面接記録など

[個人情報の取り扱い]

利用する情報にお名前や年齢など個人を同定できる情報は含まれておりません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経精神科 担当者 小林清香

電話 03-3353-8111 (代) FAX 03-3351-8979

平成 27 年 月 日

神経精神科に過去に勤務されたことのあるスタッフの方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の業務で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 心理教育プログラム導入後のスタッフの変化の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院神経精神科

[研究責任者] 神経精神科主任教授 石郷岡 純

[研究の目的] 心理教育プログラムのスタッフへの影響を確認する

[研究の方法]

●対象となる方

平成 19 年 4 月 1 日から平成 23 年 1 月 31 日の間に神経精神科外来または病棟に勤務し、心理教育プログラムに携わられた方。

●利用する情報

職種、心理教育プログラムの実施歴、プログラムを実施しての感想など、心理教育プログラムに関するアンケートにお答えいただいた内容。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報にお名前や年齢など個人を同定できる情報は含まれておりません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経精神科 担当者 井上敦子

電話 03-3353-8111 (代) FAX 03-3351-8979

平成 27 年 3 月 30 日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕

ICU 入室中の心臓血管外科術後患者に対する PAD ガイドラインの有用性

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院心臓血管外科

〔研究責任者〕 看護部・看護部長・坂本倫美

〔研究の目的〕

平成 26 年度から導入した鎮静・鎮痛管理方法を使った患者さんの手術後の経過の違いを導入前の患者さんの経過と比較する

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

心臓血管外科で手術を受けられた患者さんで、手術後に心臓病 ICU に平成 24 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日まで入室された方

●利用するカルテ情報

年齢・性別・診断名・既往歴

手術前の身体機能検査の結果と採血結果（心臓・呼吸器・腎臓・糖尿病の有無）

手術方法と手術中の情報（手術に要した時間・輸血量・出血量・人工心肺装置装着時間など）ICU 入室中の情報（人工呼吸器をつけていた期間・1 日に使用した鎮痛剤の回数・1 日に使用した鎮静剤量・初めてベッドの端に足を降ろした日時・ICU に在室した日数など）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

不都合な点やご不明な点がございましたら下記の問い合わせ先まで、お手数ですがご連絡ください。尚、患者様個人のデータに関する質問は研究開始時に患者さんを直接同定出来ないようにしているため、対応致しかねます事をご了承願います。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学病院 心臓血管外科 心臓病 ICU

担当 石井馨子（看護師）電話 03-3353-8111（大代表）FAX 23220 内線：23221

東京女子医科大学病院 第四内科ならびに泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことがあります）の患者さんまたはそのご家族の方へ
（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療時に採取・保管した検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 糸球体疾患の病態や予後に関連する電子顕微鏡的パラメーターの検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院 第四内科、第二病理学

[研究責任者] 小田秀明、第二病理学、主任教授

[研究の目的]

腎糸球体疾患における糸球体上皮細胞、内皮細胞および糸球体基底膜などの電子顕微鏡的变化を検討し、臨床所見や腎機能（予後）との関連性を明らかにして、疾患の適切な治療の確立や予後の予測に役立てることを目的とする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1982年1月1日から2011年12月31日の間に当院第四内科にて腎生検を受け、一次性あるいは二次性糸球体疾患と診断された方。ならびに1990年から2012年12月31日の間に腎移植を施行され、且つ腎移植時に腎生検を受けられたドナーの方。

●利用する検体およびカルテ情報

検体：腎生検病理組織標本

カルテ情報：年齢、性別、身体所見、家族歴、既往歴、診断名、検査結果（血液検査・尿検査）、腎生検所見、治療内容（内服薬、透析）、治療期間、転帰

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 第二病理学

担当医師 種田積子

電話 03-3353-8111（内線 22343） FAX 03-5269-7473

平成 27 年 3 月 30 日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 左室流出路狭窄を伴う完全大血管転位症、両大血管右室起始症に対するラステリ手術における心室中隔欠損狭小症例に対する心室中隔欠損拡大の遠隔期成績及び遠隔期心室機能・不整脈への影響の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院心臓血管外科

【研究責任者】 東京女子医科大学病院心臓血管外科 教授 山崎 健二

【研究の目的】 左室流出路狭窄を伴う完全大血管転位症および、両大血管右室起始に対しでは、心室中隔欠損を利用し、左室から大動脈への道を心室内で作製し、右室一肺動脈を導管でつなぐラステリ手術を一般的に行いますが、中には、心室中隔欠損が小さく、左室から大動脈までの心室内の道を確保するのが困難な症例が多いです。これらの症例では、心室中隔欠損を拡大して心室内の道を確保いたしますが、遠隔期の左心機能や不整脈への影響は不明な点が多いです。当院で施行した心室中隔欠損拡大を伴う左室流出路狭窄を伴う完全大血管転位症および、両大血管右室起始に対するラステリ手術群と心室中隔欠損拡大を伴わないラステリ手術群とで、遠隔期の左心機能や不整脈を後方視的に比較検討いたします。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

左室流出路狭窄を伴う完全大血管転位症、両大血管右室起始症の患者さんで、1983 年 1 月 1 日から 2001 年 12 月 3 日の間にラステリ手術を受けた方

●利用するカルテ情報

- ①年齢
- ②性別
- ③診断名
- ④手術術式
- ⑤追跡期間
- ⑥生存の有無
- ⑦再手術の有無
- ⑧心電図
- ⑨ホルター心電図

⑩心臓カテーテル検査

⑪心臓超音波検査

⑫血液検査結果

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 心臓血管外科 担当医師 山崎 健二

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成27年4月22日

法医学講座で法医解剖（司法解剖、警察警察等が取り扱う死体の死因又は身元の調査等に関する法律に基づく解剖）を受けた方のご遺族の方へ

－医学系研究に関する情報および医学系研究に対するご協力のお願い－

法医学講座では、以下の医学系研究を実施しております。この研究は、通常の法医解剖で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 法医解剖例における頭部外傷の受傷機転と頭蓋内損傷の重傷度の関係の解析

〔研究機関〕 東京女子医科大学医学部法医学講座

〔研究責任者〕 木林和彦 東京女子医科大学医学部法医学講座 主任教授

〔研究の目的〕

頭部外傷の受傷状況と頭蓋内損傷の重傷度の関係を調査し、頭部外傷による死亡の機序を解明する。

〔研究の方法〕

●対象となる方

平成20年2月1日から平成27年3月31日の間に法医解剖を受けた方のうち、頭部外傷による頭蓋内損傷があった方

●利用する患者情報と解剖検査記録情報

性別、年齢、身長、体重、生前の健康状態（既往歴・現病歴）、受傷状況、受傷後の臨床経過、解剖結果（剖検所見、組織検査所見、血液生化学検査結果、中毒検査結果、死因、死因の種類）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、解剖を受けた方を直接特定できる個人情報等を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も解剖を受けた方を特定できる個人情報等は利用しません。

*上記の研究に患者情報と解剖検査記録情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1

東京女子医科大学医学部法医学講座

担当医師 木林和彦

電話 03-5269-7300 FAX 03-5269-7300

E-mail: legalmed@research.twmu.ac.jp

平成 27 年 4 月 1 日

糖尿病センターに過去に入院されたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 糖尿病患者における大動脈弁と僧帽弁の石灰化にかかわる因子の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院糖尿病センター

[研究責任者] 内潟 安子 東京女子医科大学糖尿病センター 主任教授

[研究の目的]

糖尿病患者さんにおける大動脈弁と僧帽弁の石灰化にかかわる糖尿病の病態ごとの危険因子と約 10 年間の危険因子の変遷について検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2000 年 1 月 1 日から 2012 年 12 月 31 日の間に東京女子医科大学糖尿病センターに入院し心エコー図検査を受けた糖尿病患者さん。

●利用するカルテ情報

- ① 診断名・糖尿病罹病期間・既往歴
- ② 身長・体重・性別
- ③ 検査結果：心エコー図、眼底所見、血圧、血液検査、心電図、胸部 X 線
- ⑤ 治療内容

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院センター

電話 03-3353-8111 内線 27117

担当医師 佐藤麻子

FAX 03-3358-1941

平成 27 年 2 月 25 日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、検査後に残った尿検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 LABOSPECT 専用試薬「シカフィット NAG」の性能評価

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院中央検査部

〔研究責任者〕 東京女子医科大学病院 中央検査部 運営部長 川島 眞

〔研究の目的〕

腎臓機能を調べるため、尿を使用して NAG という検査を行います。この検査を行うための新しい試薬が開発されたので、現在使用している試薬と比較します。
この研究は、関東化学株式会社の受託研究として実施いたします。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

東京女子医科大学病院に通院、または入院している患者さんで、倫理委員会承認日から平成 27 年 10 月 31 日の間に NAG の検査を依頼された患者さんの尿検体で残余のある方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：尿 検査データ：NAG

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院中央検査部 技師長 三浦ひとみ

電話 03-3353-8111 FAX 03-5246-7469

平成 27 年 04 月 16 日

整形外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 化膿性股関節炎に対する筋・皮弁手術の有用性

[研究機関] 東京女子医科大学病院整形外科

[研究責任者] 加藤 義治 東京女子医大整形外科 主任教授

[研究の目的] 成人における化膿性股関節炎で慢性化し治療に難渋する症例も少なくありません。我々はその治療経験から筋・皮弁手術の有用性を検討したので文献的考察を併せて調査、報告させていただきます。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1998年10月から2010年03月までの間に東京女子医科大学整形外科に入院し、手術を施行した成人(20歳以上)の化膿性股関節炎患者。

●利用するカルテ情報

採血データ、細菌培養結果、手術回数、発症時年齢

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院整形外科

担当医師 大鶴 任彦

電話 03-3353-8111 FAX 03-3354-7360

平成 27 年 3 月 25 日

第四内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 IgA 腎症における糸球体型赤血球 3 段階分類の臨床的意義

【研究機関】 東京女子医科大学病院第四内科

【研究責任者】 新田 孝作 東京女子医科大学 第四内科 主任教授

【研究の目的】 IgA 腎症における糸球体型赤血球 3 段階分類の臨床的意義を検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

IgA 腎症の患者さんで、平成 25 年 5 月 1 日から平成 27 年 2 月 28 日の間に尿検査を受けた方

●利用するカルテ情報

- ①年齢・性別
- ②診断名
- ③治療内容
- ④検査結果（血液・生化学・尿）
- ⑤病理組織診断
- ⑥画像診断

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 中央検査部 横山 貴

電話 03-3353-8111（内 21059）

平成 27 年 4 月 27 日

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】

慢性骨髄性白血病に対するチロシンキナーゼ阻害薬と合併症に関する研究

国内で市販されているチロシンキナーゼ阻害薬：

イマチニブ（商品名グリベック）、ダサチニブ（商品名スプリセル）、ニロチニブ（商品名タシグナ）、ボスチニブ（商品名ボシュリフ）

【研究機関】 東京女子医科大学病院血液内科

【研究責任者】 東京女子医科大学血液内科・主任教授・田中淳司

【研究の目的】

性骨髄性白血病に対するチロシンキナーゼ阻害薬の長期投与における合併症調査及びその対策の検討を目的とする。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

東京女子医科大学病院血液内科に受診歴のある慢性骨髄性白血病の患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、病理組織型、進行期、既往歴、前治療歴、併存合併症の有無、血液生化学検査、画像評価、治療内容、治療効果、治療関連の副作用

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液内科 担当医師 篠原 明仁

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7329

平成 27 年 4 月 8 日

臨床研究に対するご協力をお願い
(「生体ドナー2013 年度調査」のアンケート情報の利用)

腎移植実施施設 腎移植担当者殿
肝移植実施施設 肝移植担当者殿

先日は「生体ドナーについての 2013 年度調査」(2013 年 12 月に日本移植学会、日本肝移植研究会、日本総合病院精神医学会の共同実施)にご協力いただき、誠にありがとうございました。

今回、この調査の結果をまとめ、論文等で公表することを目的として、以下の臨床研究を実施しております。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の [問い合わせ先] へご照会ください。

[研究課題名] わが国の腎臓、肝臓移植施設における生体ドナーの意思決定の支援と確認に関する検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院神経精神科

[研究責任者] 石郷岡 純 東京女子医科大学 精神神経科 主任教授

[研究の目的] 全国の腎移植および肝移植施設における生体ドナーに対する「第三者」による面接、およびドナーの意思決定を支えるための取り組みの実施状況を明らかにする

[研究の方法]

●対象

2013 年 12 月 13 日から 2014 年 1 月 10 日までに日本移植学会、日本肝移植研究会、日本総合病院精神医学会の合同で実施された「生体ドナーに関する 2013 年度調査」に回答いただき、かつ 2013 年に 1 例以上の移植実績のある移植プログラムの代表者の医師

●利用するアンケート情報

以下の項目に対する実施状況：①生体ドナーに対するインフォームド・コンセント、②生体ドナーの範囲、③本人・続柄確認、④手術の理解度評価、⑤第三者による提供意思、⑥金銭授受の確認、⑦ドナー家族の理解の確認、⑧倫理委員会実績、⑨ドナーフォロー、⑩ドナーメンタルケア

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、施設名、代表者名を直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も施設名、代表者名を特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にアンケートの情報を利用することをご了解いただけない場合は、4 月 20

日までに、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経精神科

西村勝治

Tel: (03) 3353-8111 (代)

Fax: (03) 3351-8979

E-mail : nishimura.katsuji@twmu.ac.jp

*本メールは、日本移植学会、日本肝移植研究会、日本総合病院精神医学会の合同で実施された「生体ドナーについての2013年度調査」に返答いただき、かつ2013年に1例以上の移植実績のある施設の代表者の先生方に発信しております。

平成 27 年 4 月 20 日

放射線腫瘍科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 局所限局前立腺癌における寡分割強度変調放射線治療の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院放射線腫瘍科

【研究責任者】 唐澤久美子 東京女子医科大学 放射線腫瘍学教室 主任教授

【研究の目的】

局所限局前立腺癌における寡分割強度変調放射線治療の治療効果を調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

前立腺癌の患者さんで、平成 17 年 5 月から平成 23 年 12 月の間に寡分割強度変調放射線治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）

治療内容（放射線治療・ホルモン療法）、合併症の有無、有害事象

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院放射線腫瘍科 担当医師 橋本弥一郎

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7355

平成 27 年 月 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 不整脈原性右室心筋症（ARVC/D）の予後調査

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器内科

【研究責任者】 循環器内科 主任教授 萩原誠久

【研究の目的】 ARVC の患者の予後について知ること

【研究の方法】

●対象となる患者さん

1974 年から 2013 年の間に当院で不整脈原性右室心筋症（ARVC/D）と診断された、もしくはその疑いの患者さん

●利用するカルテ情報

当院に受診された際の年齢、性別、検査結果、画像検査結果、治療内容、病歴、家族歴についての情報

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 菊池規子

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 2 月 5 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 血中 TRAIL 測定を行った急性冠症候群患者の経過観察

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院循環器内科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学循環器内科 主任教授 萩原 誠久

〔研究の目的〕

急性冠症候群発症時に血中 TRAIL 測定した患者さんの経過観察のため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

急性冠症候群の患者さんで、平成 20 年 11 月 1 日から平成 22 年 9 月 30 日の間に血中 TRAIL 測定を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、心エコー、ホルター、心臓カテーテル検査、核医学、CT、MRI）、投薬内容

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科

電話 03-3353-8111（内線 23111）

担当医師 佐藤 加代子

FAX 03-3356-0441

平成●年●月●日

東京女子医科大学病院に過去に入院されたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 精神科コンサルテーションにおける医薬品による精神障害の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院神経精神科

【研究責任者】 石郷岡 純 東京女子医科大学 精神神経科 主任教授

【研究の目的】

医薬品の副作用として出現する精神症状の頻度、臨床的特徴を明らかにする

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2005年4月から2015年3月までの10年間に東京女子医科大学病院に入院した患者さんのうち、何らかの精神症状が出現し、その原因が薬剤であることが疑われた患者さん

●利用するカルテ情報

性、年齢、基礎疾患、原因薬剤、投与期間、精神症状の種類、医療安全上懸念すべき行動、鑑別診断に必要な検査所見（一般血液検査、脳CT/MRI所見、脳波など）、危険因子（肝不全、腎不全、頭蓋内疾患など）の有無、対応（原因薬剤の減量、中止）、転帰

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経精神科 担当医師 西村勝治

電話 03-3353-8111（代） FAX 03-3351-8979

平成 27 年 4 月 1 日

循環器内科・神経内科に通院中(または過去に通院・入院されたことのある)の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 ダビガトランの効果、有害事象に関するモニタリング指標、および用量設定に関する検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院 循環器内科、神経内科

【研究責任者】 東京女子医科大学病院 主任教授 萩原 誠久

【研究の目的】 ダビガトランを使用するにあたり、出血の危険性を最大限減らすため、効果、副作用に影響する要因を調査する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

非弁膜症性心房細動の患者さんで、平成 23 年 3 月から平成 26 年 4 月の間にプラザキサ[®]が処方された方

●利用するカルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、既往歴、内服時間、採血時間、身体所見、検査所見(血液・尿検査、画像検査)

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 五十嵐慶子

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-044

平成 27 年 4 月 1 日

循環器内科・神経内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 ダビガトランの効果、有害事象に関するモニタリング指標、および用量設定に関する検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院八千代医療センター 循環器内科、神経内科

【研究責任者】 東京女子医科大学病院八千代医療センター 准教授 春田 昭二

【研究の目的】 ダビガトランを使用するにあたり、出血の危険性を最大限減らすため、効果、副作用に影響する要因を調査する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

非弁膜症性心房細動の患者さんで、平成 23 年 3 月から平成 26 年 4 月の間にプラザキサ[®]が処方された方

●利用するカルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、既往歴、内服時間、採血時間、身体所見、検査所見（血液・尿検査、画像検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

〒276-8524 千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学八千代医療センター 循環器内科 担当 山田 雄一郎、春田 昭二

電話 047-450-6000 FAX 047-458-7047

平成 27 年●月●日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、臨床用の検査の残余検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 グリコアルブミン新規項目間演算式検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院中央検査部

【研究責任者】 東京女子医科大学中央検査部 臨床検査科 教授 佐藤麻子

【研究の目的】 血中グリコアルブミンのより正確な新規測定法と従来法の関係について評価を実施致します。

この研究は、旭化成ファーマとの共同研究で実施いたします。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

グリコヘモグロビン(HbA1c)の測定依頼があった患者さんで、倫理委員会承認後から平成 28 年 3 月 31 日の間で、検査後に残余検体の残っている患者さん

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（グリコヘモグロビン(HbA1c)の測定依頼と同時に採血した血清もしくは血漿の残余検体

カルテ情報：グリコヘモグロビン(HbA1c)を含む糖尿病関連検査結果

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院中央検査部 技師長 三浦 ひとみ

電話 03-3553-8112 FAX 03-5269-7469

平成 27 年 4 月 1 日

糖尿病・内分泌代謝内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 1 型糖尿病患者における朝食前血糖変動とインスリン抗体および臨床的因子の検討

【研究機関】 東京女子医科大学八千代医療センター 糖尿病・内分泌代謝内科

【研究責任者】 東京女子医科大学八千代医療センター 糖尿病・内分泌代謝内科

教授 橋本尚武

【研究の目的】

1 型糖尿病患者さんの血糖値の変動の要因について

【研究の方法】

●対象となる患者さん

外来通院中の 1 型糖尿病患者さんで、平成 21 年 10 月 1 日から平成 27 年 4 月 30 日の間に血液検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身長、体重、罹病期間、治療内容、血液検査、自己血糖測定記録、網膜症の有無、腎症の有無

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学八千代医療センター 糖尿病・内分泌代謝内科

担当医師 橋本尚武

電話 047-450-6000

平成 27 年 4 月 9 日

腎臓内科・透析室に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 透析導入時の腎性貧血管理と患者予後との関連性についての臨床研究
～長時間作用型赤血球造血刺激因子製剤の効果の検討～

【研究機関】 東京女子医科大学病院腎臓内科

【研究責任者】 新田孝作 東京女子医科大学腎臓内科 主任教授

【研究の目的】

慢性腎臓病患者の透析導入前における貧血が、透析導入後の生命予後、心血管病の発症と関連するかどうかを検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

慢性腎臓病の患者さんで、平成 23 年 11 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日の間に透析導入となった方

●利用するカルテ情報

性別、生年月日、身長、体重、血圧、主な既往歴（過去にかかった大きな病気）、検査結果（血液検査、尿検査、胸部 X 線）、治療、その後の検査経過、生命予後、心血管病の発症の有無

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓内科 担当医師 片岡浩史

電話 03-3353-8111-36441 FAX 03-3356-0293

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 スワン・ガンツカテーテルによる右心カテーテル検査から求める血行動態指標の精度分析と一般化について

熱希釈法による心拍出量測定時の必要測定サンプル数の検討

肺動脈拡張期圧、右房圧から肺動脈楔入圧への回帰分析

心エコー指標から肺動脈圧への回帰分析

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器内科

【研究責任者】 東京女子医科大学病院八千代医療センター 循環器内科 春田 昭二

【研究の目的】

スワン・ガンツカテーテルによる右心カテーテル検査から求める血行動態指標の精度を分析し、検査時に必要な反復測定回数の目標を設定すること。早期に侵襲的な検査への移行を目指すため、スワン・ガンツカテーテルで行われる指標に対応する他検査指標との回帰式を確立すること。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 25 年 4 月から平成 27 年 3 月までの間に右心カテーテル検査を受けた方

●利用するカルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査所見（採血、心電図、心エコー、胸部単純撮影、CT、心臓カテーテル検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。
また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】

〒276-8524 千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学八千代医療センター 循環器内科

担当医師 春田 昭二

電話 047-450-6000 FAX 047-458-7047

平成27年5月1日

法医学講座で法医解剖（司法解剖、警察等が取り扱う死体の死因又は身元の調査等に関する法律に基づく解剖）を受けた方のご遺族の方へ

－医学系研究に関する情報および医学系研究に対するご協力のお願い－

法医学講座では、以下の医学系研究を実施しております。この研究は、通常の法医解剖で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 法医解剖例における薬物検査結果と死亡の関係の解析

〔研究機関〕 東京女子医科大学医学部法医学講座

〔研究責任者〕 木林和彦 東京女子医科大学医学部法医学講座 教授・講座主任

〔研究の目的〕

薬物検査の結果と死因や死因の種類（病死、事故死、自殺、他殺、その他）の関係を解析し、薬物の摂取が死亡に及ぼす影響を明らかにする。

〔研究の方法〕

●対象となる方

平成20年2月1日から平成27年3月31日の間に法医解剖を受けた方

●利用する患者情報と解剖検査記録情報

性別、年齢、身長、体重、生前の健康状態（既往歴・現病歴）、発症・受傷状況、発症・受傷後の臨床経過、解剖結果（剖検所見、組織検査所見、血液生化学検査結果、中毒検査結果、死因、死因の種類）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、解剖を受けた方を直接特定できる個人情報等を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も解剖を受けた方を特定できる個人情報等は利用しません。

＊上記の研究に患者情報と解剖検査記録情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学医学部法医学講座

担当医師 木林和彦

電話 03-5269-7300 FAX 03-5269-7300 E-mail: legalmed@research.twmu.ac.jp

平成 27 年 5 月 11 日

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 悪性リンパ腫における IGH/SOX5 融合遺伝子の出現頻度についての検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院血液内科

〔研究責任者〕 血液内科学 主任教授 田中淳司

〔研究の目的〕 悪性リンパ腫が発症するメカニズムの解明

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

悪性リンパ腫の患者さんで、平成 12 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間に病理組織検体の研究用利用に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：生検あるいは手術により摘出され診断に用いられたリンパ節などの検体（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：病名（病理組織診断名）、年齢、性別

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液内科 担当医師 志関雅幸

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7329

平成 27 年 4 月 1 日

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 骨髄異形成症候群における 20 番染色体長腕上に存在する遺伝子群発現低下の臨床的意義の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院血液内科

[研究責任者] 東京女子医科大学血液内科学 主任教授 田中淳司

[研究の目的] 骨髄異形成症候群の発症に関与する遺伝子を見つけることを目的とする

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院血液内科に受診歴のある骨髄異形成症候群および悪性リンパ腫の患者さんで、平成 12 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間に「血液疾患の病因、病態の解析」という研究目的での骨髄細胞の保管に同意いただいた方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：骨髄（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：以下の内容

- ① 患者基本情報：年齢、性別
- ② 疾患情報：疾患名、手術名、治療内容、入院期間、転帰
- ③ 血液検査結果：血算、血液生化学検査、免疫学的検査
- ④ 骨髄検査：骨髄細胞分画、染色体分析結果
- ⑤ 画像検査所見：CT、MRI、心エコー、単純写真

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液内科

担当医師 志関雅幸

電話 03-3353-8111（内線 28024）

FAX 03-5269-7329

平成 27 年 4 月 27 日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 I-123 イオフルパン SPECT 検査に与える画像再構成条件の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

【研究責任者】 坂井修二 画像診断・核医学科 主任教授

【研究の目的】 I-123 イオフルパン SPECT 検査のパーキンソン病診断能に与える画像再構成条件を検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

パーキンソン病が疑われた患者さんで、2014 年 2 月から 2014 年 11 月の間に I-123 イオフルパン SPECT 検査を施行された方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、神経学的検査、認知症検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。

また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

担当医師 阿部光一郎

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-9247

平成 27 年 4 月 27 日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] FDG-PET/CT による悪性胸水診断能の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

[研究責任者] 坂井修二 画像診断・核医学科 主任教授

[研究の目的] FDG-PET/CT による悪性胸水の診断能を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

悪性中皮腫を除く担癌患者さんで、2013 年 1 月から 2014 年 4 月の間に FDG-PET/CT にて胸水貯留を認めた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、病理結果、画像検査）

[個人情報取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

担当医師 中島怜子/阿部光一郎

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-9247

平成 27 年 4 月 28 日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 「キアリ奇形に対する大孔部減圧術における硬膜切開術(Creating an ‘Artificial Cisterna Magna’)の安全性と有用性の検討」

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院脳神経外科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学 脳神経外科 主任教授 川俣 貴一

〔研究の目的〕

キアリ奇形に対する大孔部減圧術における硬膜切開術の安全性と有効性を確認する

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2007年1月から2015年3月までの間に東京女子医科大学脳神経外科でキアリ奇形に足して上記の大孔部減圧術を実施した方です

●利用するカルテ情報

年齢、性別、神経症状を含めた臨床症状および臨床経過、周術期合併症
髄液瘻、MRI の経時的変化

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院脳神経外科 担当医師 光山哲滝

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7438

平成27年5月8日

法医学講座で法医解剖（司法解剖、警察等が取り扱う死体の死因又は身元の調査等に関する法律に基づく解剖）を受けた方のご遺族の方へ

-医学系研究に関する情報および医学系研究に対するご協力のお願い-

法医学講座では、以下の医学系研究を実施しております。この研究は、通常の法医解剖で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 法医解剖例における血液生化学検査の有用性の検討

[研究機関] 東京女子医科大学医学部法医学講座

[研究責任者] 木林和彦 東京女子医科大学医学部法医学講座 教授・講座主任

[研究の目的]

血液生化学検査の結果と疾患、外傷、死後経過時間の関係を解析し、法医解剖での血液生化学検査の有用性を明らかにする。

[研究の方法]

●対象となる方

平成20年2月1日から平成27年3月31日の間に法医解剖を受けた方

●利用する患者情報と解剖検査記録情報

性別、年齢、身長、体重、生前の健康状態（既往歴・現病歴）、発症・受傷状況、発症・受傷後の臨床経過、解剖結果（剖検所見、組織検査所見、中毒検査結果、死因、死因の種類）、血液生化学検査結果（CRP、HbA1c、troponin T、NT-proBNP）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、解剖を受けた方を直接特定できる個人情報等を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も解剖を受けた方を特定できる個人情報等は利用しません。

*上記の研究に患者情報と解剖検査記録情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1

東京女子医科大学医学部法医学講座

担当医師 木林和彦

電話 03-5269-7300 FAX 03-5269-7300

E-mail: legalmed@research.twmu.ac.jp

平成 27 年●月●日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院
されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 導出 18 誘導心電図の有用性の検討 ー小児例を中心としてー

【研究機関】 東京女子医科大学病院中央検査部

【研究責任者】 川島 眞、中央検査部 運営部長

【研究の目的】 心電図検査は手足に 10 個の電極を付けて 12 種類の波形を記録します。お子様および心臓の悪い患者さまは、さらに 3～6 個の電極を付けて追加記録し診断を高めます。本研究は実際に電極を追加して記録した心電図と、通常の心電図から計算で得られた追加心電図（導出心電図）とを比較します。高い一致得性が認められた場合には患者さまの負担を増やさず、通常の心電図記録で 18 種類の心電図評価が出来、診断精度の向上が期待できます。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

20 歳未満で平成 22 年 1 月から平成 26 年 12 月の間に 15 誘導以上の心電図検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、心電図検査所見

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院中央検査部

担当技師 山田 辰一

電話 03-3353-8111 内線 23158

平成 27 年 6 月 2 日

東京女子医科大学歯科口腔外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 手術治療患者における周術期口腔管理に関する分析研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院歯科口腔外科

【研究責任者】 安藤智博、東京女子医科大学歯科口腔外科、主任教授

【研究の目的】

手術患者の術後肺炎等の合併症の発生状況を調査し、臨床研究の向上に役立てるため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 25 年 1 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日の間に東京女子医科大学病院で手術を行った患者

●利用するカルテ情報

検体：カルテ情報：年齢・性別・口腔内細菌数と測定日時・主疾患・術式（手術名）・治療内容・血液検査結果（肝機能・腎機能・電解質・血糖値・HbA1c・CRP・血算等）・画像検査所見（CT・MRI・胸部単純 X 線写真）・細菌数・抗菌薬投与期間・発熱の有無・家族歴・既往歴・口腔内評価等

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院歯科口腔外科

担当医師 片岡利之

電話 03-3353-8111 内線 28356

FAX 03-5269-2367

平成 27 年 4 月 27 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 22q11.2 欠失症候群における統合失調症に関する調査

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器小児科

[研究責任者] 朴 仁三、循環器小児科、准教授

[研究の目的]

22q11.2 欠失症候群における精神疾患の発症頻度（（統合失調症、鬱病）、発症年齢、疾患数、家族構成等）に関するデータ分析を多施設共同で組織的、体系的に行います。22q11.2 欠失症候群における精神疾患発症の背景を把握し、予後の改善に役立てたいと考えております。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 21 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日に外来受診を受けた 13 歳以上の 22q11.2 欠失症候群の患者

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、家族歴の有無、合併症、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、心臓カテーテル検査）、治療内容、重症度（NYHA分類）、チアノーゼ残存、出産履歴、回数、分娩の異常、生産時の先天異常

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 朴 仁三
電話 03-3353-8112 内線 23111 FAX 03-3352-3088

平成 27 年 4 月 27 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 先天性心疾患のある女性患者の妊娠および出産に関する後方視的検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器小児科

【研究責任者】 朴 仁三、循環器小児科、准教授

【研究の目的】

先天性心疾患のある女性患者の妊娠および出産を経験した患者を登録し、先天性心疾患、手術歴、チアノーゼ残存、内服薬、出産履歴、回数、分娩の異常、生産時の先天異常、遺伝学的検査、病態把握、自然歴の把握、手術法と手術時期、予後に関するデータ分析を多施設共同で組織的、体系的に行います。周産期における異常分娩、生産児の先天異常等を把握し、病状の推移に関する見通しが立ち易くなり、より適切な治療を最適な時期に実施できるようになることが予測されます。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

先天性心疾患のある女性患者の妊娠および出産を経験した患者様で、平成 21 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日に外来受診を受けた方

●利用するカルテ情報

「患者さん自身のもの」：診断名、年齢、性別、家族歴の有無、合併症、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、心臓カテーテル検査）、治療内容、重症度（NYHA 分類）、チアノーゼ残存、出産履歴、回数、分娩の異常

「出産した児に関するもの」：生産時の先天異常

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 朴 仁三

電話 03-3353-8112 内線 23111 FAX 03-3352-3088

平成 25 年 5 月 8 日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 透析患者における開心術後早期成績向上を目指した周術期管理法

[研究機関] 東京女子医科大学病院心臓血管外科

[研究責任者] 山崎健二 心臓血管外科 主任教授

[研究の目的]

血液透析患者さんに対する開心術施行時の管理方法の改良により、術後早期成績向上を達成することを目的とする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

血液透析患者さんで、2008 年 1 月より 2014 年 9 月までの間に開心術受けた方

● 利用するカルテ情報

性別、年齢、身長、体重、体表面積、高血圧の有無、糖尿病の有無、糖尿病性腎症の有無、末梢動脈病変の有無、透析期間、緊急手術か否か、開心術歴、感染性心内膜炎の有無、左室既出率、EuroSCORE Additive、EuroSCORE Mortality、JapanSCORE Mortality、診断名、術式、手術時間、体外循環時間、大動脈遮断時間、病院死の有無、病院滞在期間、挿管時間、合併症の有無、死因、透析方法、腹部臓器管理結果、ドレナージ管理結果

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院心臓血管外科

担当医師 津久井宏行

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 4 月 24 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 2nd-line 分子標的薬治療後における予後予測因子として最大腫瘍縮小率の評価は有効か？

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 東京女子医科大学腎臓病センター泌尿器科主任教授 田邊一成

【研究の目的】

2nd-line 分子標的薬治療開始後の予後予測に対する、最大腫瘍縮小率の有用性を検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2007 年 1 月 1 日から 2015 年 3 月 1 日までに 2nd-line 分子標的薬治療を受けた患者さん

●利用するカルテ情報

2nd-line(二つ目に使用した)分子標的薬開始時の年齢、性別、転移の数、転移の場所、CT を用いた最大腫瘍縮小率、分子標的薬の種類、予後(生死)、生存期間。また腎細胞癌の病理組織による種類、MSKCC risk(転移性腎細胞癌の予後予測に用いられる)。また 1st-line(初めに使用した)分子標的薬開始時の転移の数、転移の場所、CT を用いた最大腫瘍縮小率、分子標的薬の種類、治療期間など。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 石原弘喜

電話 080-1965-4208 FAX 03-5269-7321

平成 27 年 4 月 24 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 当施設における腎移植後リンパ増殖性疾患の経験

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院泌尿器科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学腎臓病センター泌尿器科主任教授 田邊一成

〔研究の目的〕

過去約 30 年間に於ける、当施設での腎移植後リンパ増殖性疾患 (PTLD) の経験を総括、検討する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

1985 年 1 月 1 日から 2013 年 12 月 31 日までに腎移植後リンパ増殖性疾患を発症し検査、治療を受けた患者さん全ての方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、慢性腎不全の原因疾患、腎移植施行日、ABO 適合性、移植の回数、免疫抑制剤の種類、リンパ増殖性疾患 (PTLD) 発症日、治療法、病理組織学的分類、病期判定、生命予後 (生死の判定)、移植腎機能の予後 (移植腎機能廃絶の有無)、発症のリスクとされている Epstein-Barr ウイルスの関連性、など。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 石原弘喜

電話 080-1965-4208 FAX 03-5269-7321

平成 27 年 5 月 7 日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 非大腸癌・非内分泌腫瘍由来肝転移の切除成績の全国統計

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院消化器外科

〔研究責任者〕 消化器外科 教授 山本雅一

〔研究の目的〕

非大腸癌・非内分泌腫瘍由来肝転移の切除成績を解析し切除適応を検討するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

非大腸癌・非内分泌腫瘍由来肝転移の患者さんで、平成 12 年 1 月 1 日から平成 22 年 12 月 31 日の間に肝切除術を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、肝併存疾患（B 型肝炎、C 型肝炎、脂肪肝、アルコール性肝障害）、Child-Pugh score、原発臓器、原発巣切除日、同時性肝転移の有無、原発巣切除後補助化学療法の有無、肝転移以外の転移・再発巣、肝切除日、肝切除回数（何回目か）、肝切除術式、肝転移最大径、切除個数、片葉/両葉、肝切除以外の切除部位（リンパ節など）、最短 Surgical margin (mm)、根治度（R0／ R1:術中ラジオ波治療併施例も含む／ R2）、合併症の種類、合併症の程度（Clavian-Dindo 分類）、在院死の有無、肝切除後補助化学療法の有無、再発の有無、再発診断日、再発部位、断端再発の有無、再発に対する治療、生存あるいは死亡、死亡日（生存の場合は最終確認日）、治療・経過観察後の評価、肝切除後の合併症の有無・評価（肝不全、胆汁漏、腹腔内膿瘍、出血）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 米田五大

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 27 年 6 月 12 日

当院で心臓の手術を受けられた患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 心臓手術後の急性腎障害の予測因子の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院 麻酔科

[研究責任者] 尾崎真 東京女子医科 麻酔科学教室 主任教授

[研究の目的]

心臓手術の後の腎臓の機能障害を来す予測因子を調べるのが目的です。特に Body mass index と術後の腎障害の関連に注目しています。この予測因子を調べることで、より良い手術中、手術後の管理に繋げていくことを目指します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院で平成 21 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間に心臓の手術を受けられた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、診断名、手術、入院期間 既往歴、心電図、経胸壁心エコー、血液検査結果、内服薬、術後経過記録、ICU 経過記録、麻酔記録

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院麻酔科 担当医師 佐藤敬太

電話 03-5269-7336 FAX 03-5269-7336

別紙

患者さんへ

2015 年 05 月 21 日

当院 脳神経外科、神経内科における臨床研究での
患者さんの診療に関する記録の利用について

当院脳神経外科、神経内科科では、動脈硬化性頭蓋内動脈狭窄症の患者さんを対象にした「ウィングスパンステントシステム市販後調査に基づく頭蓋内動脈硬化症に対する経皮的血管形成術/ステント留置術に関する前向き観察研究（WICAD）」を実施しています。

動脈硬化性の頭蓋内動脈狭窄症には、危険因子の管理や抗血小板薬の投与などの内科治療がまず行われますが、それらの治療を行っても脳梗塞の発症が防げないと判断された場合は、カテーテルを用いた血管形成術やステント留置術などが行われます。2014 年 7 月から本邦で承認されたステント（Wingspan）の市販後調査の開始に合わせて、全国の主要な病院が協力して、動脈硬化性の頭蓋内動脈狭窄症に対する血管内治療（血管形成術、ステント留置術）のデータを集めて解析を行うことを目的とした研究が始まっています。当院脳神経外科、神経内科でも、当院で治療を受けた患者さんのデータを収集して、この研究の目的で使用する予定です。

この研究は、対象となる患者さんの日常診療で得られる診療に関する記録（検査結果など）を集めますが、特別な治療や検査を行うことはありませんので、患者さんに直接何らかの利益または不利益が生じることはありません。また、対象となった患者さんの住所・氏名など個人が同定されるような情報は、当院以外の第三者に知られることはありません。

ご自身（もしくはご家族の）の診療記録がこの研究で利用されることについて異議のある方、または研究内容について詳しく聞きたい方は、担当医もしくは当院の研究責任者にお申し出ください。

当院における連絡先：東京女子医科大学脳神経外科

<研究責任者> 脳神経外科（主任教授） 川俣貴一
 脳神経外科（准講師） 山口浩司
 脳神経外科（助教） 石川達也

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8 丁目 1

TEL：03-3353-8111, FAX:03-5269-7438

<研究事務局> （本研究全般に関する問い合わせ先）：

WICAD 研究事務局

先端医療センター 脳血管内治療科

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 2-2

TEL：078-304-5200 FAX：078-306-0768

別紙

患者さんへ

2015 年 05 月 21 日

当院 脳神経外科、神経内科における臨床研究での
患者さんの診療に関する記録の利用について

当院脳神経外科、神経内科科では、動脈硬化性頭蓋内動脈狭窄症の患者さんを対象にした「頭蓋内動脈硬化症に対する経皮的血管形成術に関する前向き観察研究（AICAD）」を実施しています。

動脈硬化性の頭蓋内動脈狭窄症には、危険因子の管理や抗血小板薬の投与などの内科治療がまず行われますが、それらの治療を行っても脳梗塞の発症が防げないと判断された場合は、カテーテルを用いた血管形成術やステント留置術などが行われます。2014 年 7 月から本邦で承認されたステント（Wingspan）の市販後調査の開始に合わせて、全国の主要な病院が協力して、動脈硬化性の頭蓋内動脈狭窄症に対する血管内治療（血管形成術、ステント留置術）のデータを集めて解析を行うことを目的とした研究が始まっています。当院脳神経外科、神経内科でも、当院で治療を受けた患者さんのデータを収集して、この研究の目的で使用する予定です。

この研究は、対象となる患者さんの日常診療で得られる診療に関する記録（検査結果など）を集めますが、特別な治療や検査を行うことはありませんので、患者さんに直接何らかの利益または不利益が生じることはありません。また、対象となった患者さんの住所・氏名など個人が同定されるような情報は、当院以外の第三者に知られることはありません。

ご自身（もしくはご家族の）の診療記録がこの研究で利用されることについて異議のある方、または研究内容について詳しく聞きたい方は、担当医もしくは当院の研究責任者にお申し出ください。

当院における連絡先：東京女子医科大学 脳神経外科

＜研究責任者＞ 脳神経外科（主任教授） 川俣 貴一
脳神経外科（准講師） 山口 浩司
脳神経外科（助教） 石川 達也

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1

TEL：03-3353-8111, FAX:03-5269-7438

＜研究事務局＞（本研究全般に関する問い合わせ先）：

AICAD 研究事務局

先端医療センター 脳血管内治療科

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 2-2

TEL：078-304-5200 FAX：078-306-0768

平成 27 年 5 月 21 日

リウマチ科に入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、残余検体として保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 多発性筋炎/皮膚筋炎合併間質性肺炎の予後予測因子の同定

〔研究機関〕 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 膠原病リウマチ内科

〔研究責任者〕 リウマチ科 臨床教授 川口 鎮司

〔研究の目的〕

多発性筋炎/皮膚筋炎合併間質性肺炎の患者さんの予後予測因子を明らかにすること

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

多発性筋炎ないし皮膚筋炎の患者さんで、本研究に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、肺機能検査、筋電図、筋病理）、など

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学 リウマチ科/附属膠原病リウマチ痛風センター

担当医師 川口 鎮司

電話 03-5269-1725 FAX03-5269-1726

平成 27 年 5 月 15 日

新生児医学科に入院されたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 ～後障害なき生存を目指して～超早産児慢性肺疾患に続発する肺高血圧症の周産期リスク因子の解析および長期予後の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院周産期センター母子総合医療センター新生児医学科

【研究責任者】 楠田 聡 母子総合医療センター新生児医学科 教授

【研究の目的】

慢性肺疾患による肺高血圧症を合併した早産児の臨床的特徴、長期予後を調査し、今後の診療の向上につなげるため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

在胎期間 28 週未満で出生された患者さんで、平成 12 年 1 月 1 日から平成 23 年 12 月 31 日の間に東京女子医科大学母子総合医療センターへ入院された患者さん

●利用するカルテ情報

母体情報、性別、在胎週数、出生体重、出生時状況、入院後経過、合併症、検査結果、治療内容、予後、退院後経過

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院母子総合医療センター新生児医学科 担当医師 中西 秀彦

電話 03-3353-8111・・・ FAX 03-5269-7668・・・

平成 27 年 3 月 31 日

内視鏡科・消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 胃癌に対しての ESD 後側方断端陽性例への対応

[研究機関] 東京女子医科大学八千代医療センター 内視鏡科・消化器内科

[研究責任者] 光永篤 東京女子医科大学八千代医療センター 内視鏡科 教授

[研究の目的]

胃癌に対して ESD 治療を受けた患者さんのうち、側方断端陽性となった方の追加処置、臨床経過を調べることにより、各追加処置の有用性と問題点、長期予後を明らかにするため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

胃癌の患者さんで平成 18 年 12 月 8 日から平成 26 年 5 月 31 日のあいだに胃癌と診断され内視鏡的胃粘膜下層剥離術（ESD）の治療を受けられた患者様。その中で病理検査で側方断端陽性となった患者様。

●利用する検体およびカルテ情報

検体：病理組織（以前の病理組織検査の結果であり新たに採取はしません。）

カルテ情報：診断名、治療内容、検査結果（内視鏡検査、CT、超音波検査、血液検査など）、経過

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学八千代医療センター 内視鏡科 担当医師 田形 倫子

電話 047-458-6000 FAX 047-458-7047・・・

平成27年5月19日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 鏡視下腎部分切除術における術後ドレーン留置の必要性についての再検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院泌尿器科

〔研究責任者〕 田邊一成 泌尿器科 主任教授

〔研究の目的〕

鏡視下腎部分切除術、術後のドレーン留置の必要性について再検討するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2006年4月から2015年3月までの間に東京女子医科大学泌尿器科に入院し鏡視下腎部分切除術を施行された患者。

●利用するカルテ情報

①年齢②性別③手術所見(術式、出血量など)④病理所見(組織型、病期など)⑤CT画像所見
⑥採血データ(血算、生化学、凝固系など)⑦臨床経過(臨床症状、追加治療の有無)

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 橘秀和

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 27 年 6 月 23 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 心房スイッチ術後にジャテン手術を施行した完全大血管転位症の術後遠隔期左室機能について

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器小児科

【研究責任者】 朴 仁三 循環器小児科 准教授

【研究の目的】

完全大血管転位症に対して心房スイッチ後にジャテン手術を施行後遠隔期の左室機能を評価するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

完全大血管転位症に対して心房スイッチを受けた患者さんで、1986 年 1 月 1 日から 2010 年 12 月 31 日の間にジャテン手術を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）、手術記録、

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 富松宏文

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 6 月 4 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 先天性心疾患術後心房頻拍に対する破砕電位(fragmented potential)を指標としたカテーテルアブレーション

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器小児科

【研究責任者】 朴 仁三 循環器小児科 准教授

【研究の目的】

先天性心疾患術後心房頻拍に対するカテーテルアブレーションの有用性を検討するため。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

先天性心疾患術後心房頻拍の患者さんで、平成 25 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間にカテーテルアブレーションを受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、基礎心疾患および既往手術、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、生理検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 和田 励

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7321

平成 27 年 3 月 16 日

東京女子医科大学歯科口腔外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、カルテ情報を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 化学放射線治療患者における周術期口腔管理に関する分析研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院歯科口腔外科

【研究責任者】 安藤智博、東京女子医科大学歯科口腔外科、主任教授

【研究の目的】

化学放射線治療患者の粘膜炎、唾液分泌低下、嚥下機能、味覚機能、化学放射線治療完遂率を調査し、臨床研究の向上に役立てるため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 25 年 1 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日の間に東京女子医科大学病院で手術を行った患者

● 利用するカルテ情報

検体：カルテ記載情報（年齢・性別・検査・歯数、歯周ポケット、口腔内浸潤度、口腔内細菌数と測定日時・主疾患・化学放射線治療内容（化学療法剤、照射部位、照射線量）・血液検査結果（肝機能・腎機能・電解質・血糖値・HbA1c・CRP・血算等）・画像検査所見（CT・MRI）・発熱の有無・家族歴・既往歴・口腔内評価・痛み・粘膜炎グレード分類・唾液分泌量・味覚障害、嚥下機能・化学放射線治療完遂率等）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

臨床医学研究のお知らせ

東京女子医科大学八千代医療センターでは、将来の医療を向上させるため、下記のような臨床医学研究を行っています。

つきましては、御協力と御理解をお願い申し上げます。

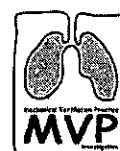
この研究では、患者様の個人情報（お名前、住所、電話番号、診察券番号など）は使用しませんのでご安心ください。

なお、ご質問がありましたら担当医師にお問い合わせください。



人工呼吸療法に関する疫学研究

Epidemiologic study of Mechanical Ventilation Practices in Japan



人工呼吸療法は、集中治療室で行われる代表的な治療です。人工呼吸器を使用し、呼吸不全に陥った患者さんの呼吸を調節したり、自発呼吸を補助したりすることを行っています。人工呼吸器の設定は数種類あり、病態に合わせて使い分けられていますが、現時点では標準的な方法はなく、各施設により様々です。

そこで、私たちは人工呼吸療法の実態を把握することを目的に横断的研究を計画しました。人工呼吸療法を受けている患者さんにおいて、平成 27 年〇月〇日から平成 27 年〇月〇日までの任意の 3 日間の呼吸器設定に関連するデータを調査します。この調査は、全国の救命救急センターや集中治療室で一斉に行われます。この調査により日本における人工呼吸療法およびその周辺事情を知ることができます。そして、標準的な人工呼吸療法を定義することも可能となります。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容について調査を行います。

この調査では、参加を拒否することも自由です。もし、参加を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。

東京女子医科大学八千代医療センター 救急科・集中治療部 貞広 智仁

〒276-8524 千葉県八千代市大和田新田 477-96

TEL:047-450-6000 (内線 7710)

平成 27 年 6 月 1 日

放射線腫瘍科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 食道癌根治的切除術後の単発性リンパ節転移に対する放射線治療成績の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院放射線腫瘍科

[研究責任者] 唐澤 久美子 放射線腫瘍科 診療部長

[研究の目的]

食道がんの根治的切除術後に単発のリンパ節転移を生じ、放射線治療を行った患者さんの治療成績を検討し、放射線の治療効果を明らかにする目的の研究です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

食道がんの患者さんで、平成 16 年 1 月 1 日から平成 26 年 1 月 1 日の間に食道がん術後の単発性リンパ節転移に対して放射線治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、内視鏡所見、病理診断所見）、手術記録、放射線治療関連記録

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院放射線腫瘍科 担当医師 泉 佐知子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7355

平成 27 年 6 月 24 日

放射線腫瘍科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 局所進行膵癌に対する放射線治療の治療効果と有害事象

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院放射線腫瘍科

〔研究責任者〕 唐澤 久美子 東京女子医科大学 放射線腫瘍学教室 （教授）

〔研究の目的〕 膵癌に対する放射線治療の効果と有害事象を評価するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2009 年 4 月から 2013 年 12 月までの間に東京女子医科大学放射線腫瘍科で膵癌に対して放射線治療を施行した方。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、病理組織、血液検査、治療内容、再発の有無、無病期間、観察期間、生存の有無、画像検査

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院放射線腫瘍科

担当医師 橋本弥一郎

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7355

平成 27 年 5 月 18 日

東京女子医科大学病院に過去に通院・入院されたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 当院における 10 年間の血液培養結果集計

[研究機関] 東京女子医科大学病院中央検査部

[研究責任者] 東京女子医科大学病院 中央検査部 運営部長 川島眞

[研究の目的]

検査室に提出された血液培養検査結果を集計し、約 10 年間に於ける検体数の推移と、検出された菌種の内訳、および診療科別の検出菌、薬剤感受性について検討する

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2004 年 1 月 1 日から平成 2014 年 3 月 31 日の間に血液培養検査を受けた方

●利用するカルテ情報

血液培養検査結果

(陽性/陰性、検出された菌名、感受性検査結果、提出検体数、診療科)

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院中央検査部

後藤亜江子

電話 03-3353-8111

内線 35034

「後ろ向き観察研究」用 情報公開用文書

平成 27 年 6 月 24 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 先天性心疾患に対するペースング機器植込みの効果、合併症の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器小児科

[研究責任者] 朴 仁三 循環器小児科 診療部長・准教授

[研究の目的] 先天性心疾患に対するペースング機器植込みの効果を調査する事

[研究の方法]

●対象となる患者さん

先天性心疾患の患者さんで、平成 1 年 1 月 1 日から平成 27 年 5 月 31 日の間にペースング機器植込みの治療を受けた方

●利用するカルテ情報

* 診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）、ペースメーカー本体およびリード情報、合併症の有無

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 竹内 大二

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 6 月 4 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 心外膜リードを用いたペースメーカー感染の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 循環器小児科

〔研究責任者〕 循環器小児科 准教授 朴 仁三

〔研究の目的〕

ペースメーカーの治療効果を調査するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

先天性心疾患および不整脈の患者さんで、昭和 58 年 1 月 31 日から平 25 年 1 月 31 日の間にペースメーカー治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、血液培養検査、創部培養検査、画像検査、心電図検査）、治療内容

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 循環器小児科 担当医師 工藤 恵道

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 5 月 29 日

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 症候性骨髄腫患者における B 型肝炎ウイルス再活性化に関する多施設共同後方視的観察研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院血液内科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学血液内科・主任教授・田中 淳司

〔研究の目的〕 多発性骨髄腫の患者さんにおける B 型肝炎の再活性化の実態調査

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

多発性骨髄腫の患者さんで、平成 18 年 1 月 1 日から平成 26 年 6 月 30 日の間に多発性骨髄腫の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、既往歴、治療歴、輸血歴、身体所見、検査結果（血液検査）、治療経過

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液内科 担当医師 今井 陽一

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7329

平成 27 年 7 月 1 日

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

・臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い・

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 急性白血病患者における多剤併用化学療法時の発熱性好中球減少症に関する検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院血液内科

【研究責任者】 田中 淳司 東京女子医科大学 血液内科学 教授・講座主任

【研究の目的】 急性白血病の治療法の進歩に伴い向上しつつあります。その一方で抗がん薬による治療中は、抵抗力が落ち、健康な人にはあまり病気をおこさない様々な菌で感染（発熱性好中球減少症）を発症します。発熱性好中球減少症は時として重症化し、白血病の治療を行う上で最も注意すべき合併症です。この研究は発熱性好中球減少症の患者さんの臨床データを詳細に分析し、その特徴を明らかにすること目的としています。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

急性白血病の診断名で平成 2 年 1 月 1 日から平成 27 年 6 月 30 日の間に血液内科に入院され、抗がん薬による治療を受けた方

●利用するカルテ情報：入院日時、診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、細菌培養検査、画像診断結果、生理学的検査結果）、治療内容、治療費用

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液内科

担当医師 志関雅幸

電話 03-3353-8111（内線）28024

FAX 03-5269-7329

平成 27 年 6 月 25 日

放射線腫瘍科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

表在食道扁平上皮癌に対する放射線治療の治療成績と再発形式についての検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院放射線腫瘍科

[研究責任者] 唐澤 久美子 東京女子医科大学 放射線腫瘍学教室 （教授）

[研究の目的]

当院における胸部食道扁平上皮癌に対する放射線治療の効果を評価するため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2003 年 7 月から 2014 年 4 月までの間に東京女子医科大学放射線腫瘍科で胸部食道扁平上皮癌に対して放射線治療を開始した方。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、病理組織所見、血液検査、治療内容、再発の有無、無病期間、観察期間、生存の有無、画像診断所見 内視鏡検査所見

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院放射線腫瘍科 担当医師 河野 佐和

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7355

平成 27 年 6 月 27 日

放射線腫瘍科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 局所大腸癌に対する術前放射線治療の効果と副作用

【研究機関】 東京女子医科大学病院放射線腫瘍科

【研究責任者】 唐澤 久美子 東京女子医科大学 放射線腫瘍学教室 （教授）

【研究の目的】

直腸癌術前照射の効果と有害事象を評価するため。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2008 年 4 月から 2013 年 12 月までの間に東京女子医科大学放射線腫瘍科で直腸癌に対して術前照射を施行した方。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、病理組織、血液検査、治療内容、再発の有無、無病期間、観察期間、生存の有無、画像診断所見

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院放射線腫瘍科 担当医師 石井 由佳

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7355

平成 27 年 6 月 1 日

内分泌外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 高齢者原発性副甲状腺機能亢進症患者に対する外科治療の有効性と安全性

【研究機関】 東京女子医科大学病院内分泌外科

【研究責任者】 内分泌外科 教授： 岡本高宏

【研究の目的】

高齢者における原発性副甲状腺機能亢進症に対する手術の有用性について検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

原発性副甲状腺機能亢進症の診断で、2004 年 1 月 1 日から 2013 年 12 月 31 日までの間に手術を受けた方

●利用するカルテ情報

①年齢、性別

②身体所見

③診断名（生化学型、腎結石型、骨型、家族性）

④画像検査結果（レントゲン、MIBI シンチグラフィ、CT、骨密度検査など）

⑤生理学検査結果（肺機能、心電図など）

⑥血液検査結果

⑦治療内容

⑧個人歴（身長、体重、主訴、既往歴、家族歴、喫煙歴、アレルギーなど）

⑨麻酔方法、術中使用薬剤

⑩術式、手術内容（手術時間、麻酔時間、出血量）

⑪併存症に対する周術期治療の有無と内容

⑫術後使用薬剤

⑬術後経過（高血圧の有無、後出血の有無、低カルシウム血症の有無等の合併症を含む）

⑭病理学的診断

⑮術後の主訴の変化、症状の改善など

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院内内分泌外科 担当医師 永井絵林

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7341

平成 27 年 6 月 25 日

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 「腎腫瘍に対する腎部分切除後の手技による腎機能回復と温存腎実質量の経時的変化およびこれに寄与する患者および手術因子の影響についての検討」

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院泌尿器科

〔研究責任者〕 主任教授 田邊 一成

〔研究の目的〕

腎腫瘍に対して腎部分切除をうけた患者さんの術後残腎体積の変化とこれに影響する因子

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

腎腫瘍に対して平成 24 年 1 月 1 日から平成 27 年 5 月 1 日の間に腎部分切除術を受けた方

●利用するカルテ情報

- ①年齢、性別、身体所見、理学所見、血液検査結果、画像診断結果（CT、MRI、シンチグラフィ）
- ②手術所見、手術成績（手術時間、出血量、合併症、退院日）、病理検査結果

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 近藤 恒徳

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293